

Rotary
KAWAGUCHI NORTH
Weekly Report 2016-17 Vol. 42

NO. 19+1

NO. 18 を飛ばした為



RI テーマ 「"ROTARY SERVING HUMANITY" (人類に奉仕するロータリー)」
club テーマ 「 真心の奉仕と親睦の輪 」

NO. 1986 2月9日

SAA 山口久仁幸委員長

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 開会の点鐘 | 磯利昭会長 |
| 2. ソングリーダー | 谷口会長エレクト |
| 3. 会長挨拶及びお客様紹介 | 磯利昭会長 |
| 4. 幹事報告 | 次年度幹事 榎孝夫 |
| 5. 委員会報告 会長エレクト | 谷口顕 |
| 6. ニコニコ・出席報告 | 森田康之 |
| 7. 卓話 | 米山奨学生 ラマ・ビクラム君 |
| 8. 閉会の点鐘 | 磯利昭会長 |

TODAY

第1987回 2月14日(火)
インターアクト韓国学生訪問

Next week

第1988回 2月24日(金)
第12グループ「IM」

 会長挨拶

磯 利昭

「オリンピックマラソン選手 増田明美の挫折と人生」

ロス五輪は重圧からか途中棄権。世間やマスコミの目は冷たく、勤務先の川崎製鉄も退職。マスコミは走れなくなった悲劇の主人公を追い掛け回した。その後も法政大学入学、途中退学、米国オレゴン大学への留学と苦労と涙の軌跡を描くが、マラソンをあきらめきれず復活、1992年の「大阪国際」まで走り続けた。マラソンを山あり谷ありの人生にたとえることが多いが、前半生はそんな典型のようにも思える。13年間の競技生活で日本記録が12回というのは彼女の才能と努力の結晶であり、女子マラソン界に燦然と輝いている。山が高かっただけに谷の深さも想像できる。

最近増田さんのマラソンテレビ解説となった。解説になんともいえない温かさがある。自分自身の経験がそうさせるのだろうか、人間性だろう。選手の身になってその苦労を等身大で感じているような解説である。そして代弁者となっていると思う。

❖自己最高記録は昭和58年オレゴンTCナイキマラソンの2時間30分30秒。



 幹事報告

次年度幹事 榎孝夫

1. 2・3月例会スケジュール

2/8⇒2/9 ラマ・ビクラム君卓話

2/15⇒2/14 韓国訪日団学生

クラブ訪問

2/22⇒2/24 IM

3/1 創立記念例会

3/8⇒3/9 パストガバナー中村靖治様

3/15 クラブフォーラム

3/22⇒3/21 親子3代3クラブ合同例会

3/29 会長エレクト「PETS」について

2. 2月ロータリーレート \$1=116円

2/12 第29回インターアクト協議会

独協埼玉高等学校 受付9:30

3/12 米山記念奨学部門「修了式」

ラフレさいたま 受付13:00



 委員会報告 会長エレクト 谷口 顕

次年度について2月8日、3クラブ次年度会長幹事の集まりがございました。

1. 次年度の3クラブ合同例会について

2. 3クラブ合併について

3. 青少年交換事業について

この件についての話し合いを行いました。